

純心だより

2月

温かい日も増えてきました。椿、水仙、冬のお花も盛りですが、紅梅、白梅、河津桜、クリスマスローズに桜草、春ももうそこまで来ます。各施設の植物も少しずつ春めいてきましたね。コロナで沈み込まないで、春の花々を見たり、春の歌を歌ったり、少しでも明るい毎日を送っていただきたいと思っています。早くワクチンが行き届いて入居のご利用者様もご家族様と直に会える日が来て欲しいです。長い間のズーム面会、心が痛みます。

最近、大きなことに気が付きました。地域型特養を東京と香川で建設しているのですが、ご利用者さん一人当たりの面積が全然違うのです。東京はお部屋も狭く居間も狭く廊下も狭いのです。居間などは岡山、香川では1ユニットに2か所ずつあります。東京ではダイニングセットだけでソファも置けないユニットもあります。もちろんお庭も広く取れません。そのうえ介護保険料は高い。人件費他が高いからだろうと思います。経営する側も田舎のほうが楽なことに気づきました。東京、東京というけれど施設生活をするなら絶対に地方のほうがいいですね。このコロナ時代、都会の人がしっかり考えて地方へ移住してくれたら、バランスの取れたいい国ができるのにと思っています。

先日、岡山市景観まちづくり賞を頂きました。かがやき荘のお隣の「ポエム保育園おかやま」です。去年は吉宗のグループホーム「楽しんで」で頂きました。とても光栄です。これからもご利用者様に心地よく楽しんで頂くだけでなく、道行く方たちにも楽しんで頂き、心を

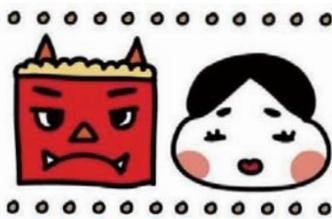
豊かにして頂けるよう細やかな心を常に維持して頑張りたいと思います。みなさんでお花の咲き乱れる時を「春よ、来い！」と呼びましょうね！

前田計子

◆鬼は外、福は内!!◆

グループホーム平津では、2月4日に節分の「豆まきを行いました。グループホーム平津の豆まきは、通常の豆まきとは少し違った方法で行いました。豆まきを始める前に、まずはみんなで新聞紙を丸めて豆の代わりになる新聞紙豆を作ります。新聞紙をちぎって、丸めて好みの大きさの豆づくりに、みなさん真剣に取り組んでくださいました。

準備ができたなら、いよいよ豆まきのスタートです。段ボールで作った大きな箱の中に点数が書かれています。その的に向かって、新聞紙豆を投げ入れるというスタイルの豆まきで、当たった的の点数によって飴などのプレゼントがあるので、みなさんとても楽しんでくださいました。しっかりと楽しんで豆まきしたので、今年も元気によい一年が過ごせますように願っています。





きらめき荘1・2階のご紹介



まだまだ朝晩は厳しい寒さが続きますが、日中は2月とは思えないくらい暖かい日もあり、春が近づいているのかなと思う日々です。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

きらめき荘1・2階には83名の方が入所されています。1・2階には1階フロアと2階に東棟、西棟の計3フロアがあります。穏やかな生活環境の中、寝たきりの方から自立の方までそれぞれに合ったリハビリやレクリエーションなどに取り組みながら、日常生活を送っていただいております。

例年であれば、インフルエンザが猛威を振るう時期ではありませんが、今年は新型コロナウイルスの第3波が来て、なかなか普段通りに生活することも厳しい状況が続いております。ご利用者様・ご家族様にも長い間面会ができず、ご心配やご迷惑をおかけしていますが職員一丸となり新型コロナウイルス感染予防対策に日々奮闘しています。

昨年から新たに始まった毎月1回の「和菓子の日」では、季節や行事に合ったきれいな色や形の和菓子を提供しており、皆さんとても喜び、普段はなかなか食事が進まない方もその日はペロツと召し上がられます。例年通りに大々的に行事を開催する事は難しくなっていますが、感染症対策をしつかりとしたうえで、ささやかではありますが敬老会



やクリスマス会も開催します。催しや和菓子を通してわずかではありませんが、季節を感じて頂き、日常の中に楽しみを感じて頂けているのではないかと思います。

新型コロナウイルスが終息し、1日も早く面会していただける日が来ることを願い、引き続き感染症予防と対策に努め、新たな生活様式の中でも利用者の方々にも楽しみを提供できるよう職員一同力を合わせていきますので、今後ともきらめき荘入所をよろしくお願い致します。



岡山純心会 二月の予定とお知らせ

和菓子の日 一日

全施設

豆まき

三日

グループホーム矢坂本陣
グループホーム平津

